

膵の嚢胞性疾患については、従来より Howard and Jordan の分類が頻用されており、しかも、それほど新しい疾患概念でもないのに、もうこれ以上大きく進展することはないかと思っておりました。ところが、本誌を御覧になればおわかりのように本疾患に対する検査法が発達すると共に、その様相も変わってきました。すなわち、これまでの分類では臨床的には複雑すぎて利用し難いので、腫瘍性か非腫瘍性かというように簡単な分類が用いられるようになりました。

診断についても US, CT, ERCP の発展がみられ、各々の役割が明らかとなってまいりました。また、このため小病変の発見が容易になりましたので、嚢胞性腫瘍や腫瘍による二次性嚢胞の

発生過程の探究が可能となり、これに伴って粘液産生癌との関連など興味深い研究テーマが見つかってきました。いずれ近いうちに早期膵嚢胞腺癌の発表があるかもしれません。更に solid and cystic acinar cell tumor という聞き慣れない疾患が述べられており、膵の嚢胞性疾患については解決すべき問題が数多く残されているようです。治療面についても手術的か非手術的かなど病態の解明と共に変わってゆくことでしょう。しかし、診断、治療した後の患者の状態についての詳細な報告が少ないのが残念です。ある意味では長期予後を知ることは臨床医にとって最も大切であると思うので症例を慎重に follow していただきますようお願いいたします。

胃と腸

8月号(第21巻・第8号)予告

発売予定 8月2日
定 価 1,700円

主題／胃癌肉眼分類の問題点

序 説	胃癌肉眼分類の問題点—誤解と混乱……………国立がんセンター	市 川 平三郎
主 題	胃癌の Borrmann 分類とは何か—原点よりの考察……………	望 月 孝 規
	胃癌肉眼分類の問題点—視座を変えて……………筑波大・病理	中 村 恭 一
	胃癌肉眼分類の問題点—肉眼診断の立場から……………新潟大・1病理	渡 辺 英 伸
	胃癌肉眼分類の問題点—5型胃癌を中心に……………阪医大・1外	岡 島 邦 雄
	“いわゆる早期癌類似進行癌”症例とその問題点……………大阪府立成人病センター・外	岩永 剛・他
	胃癌肉眼分類の問題点	
	—早期癌類似進行癌を中心として……………愛知県がんセンター・外	紀藤 毅・他
	いわゆる早期癌類似進行癌……………鳥取大学・1外	貝原 信明・他
座談会	胃癌肉眼分類の再検討……………国立がんセンター	市川平三郎・他
今月の症例	びまん性膨隆を示す進行胃癌……………国立がんセンター・放診	牛尾 恭輔・他
初心者講座	早期胃癌の見つけ方(8)……………仙台市医療センター・内	望月 福治・他

(編集頁の都合で掲載論文が若干変更になることがあります。)

胃と腸(第21巻 第7号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝雄

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1986年7月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,700円(配送料80円)

年ぎめ予約購読料19,080円(送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1986, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 長谷川・窪田・大竹